

Create New Value by



Windowsリモートデスクトップ(RDP)接続時の 描画速度の改善方法

<設定手順書>

2020年4月

株式会社NTTPCコミュニケーションズ



平素より弊社 セキュアリモートアクセス(SRA)サービスをご利用頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅待機や在宅勤務を行われる方々が増え、インターネット全体のトラフィックは以前に比べて4割増えている事態となっております。

バックボーンの増強工事は日々行っておりますが、急増したトラフィックに一部サービスが追いついていない状況が発生しており、お客様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

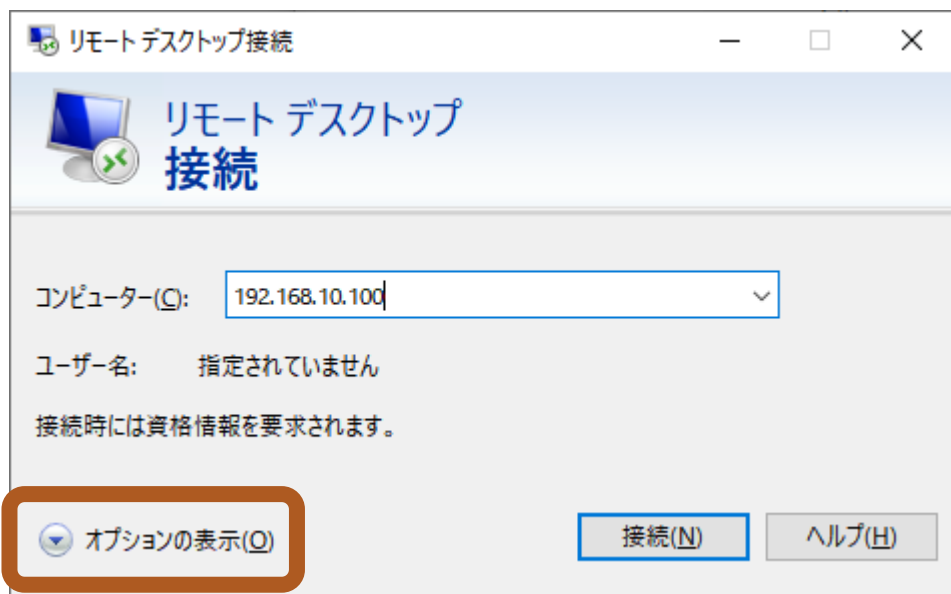
セキュアリモートアクセス(SRA)サービスのトラフィック増の原因として、Windows10端末によるリモートデスクトップ接続(RDP)の急増が挙げられます。

Windows10では、初期設定だと高画質で画面転送を行うため、多くの帯域を必要とします。現在の設定を一部変更し、画質を下げることで必要な帯域を削減し、リモートデスクトップの描画速度を向上させる事が可能となります。

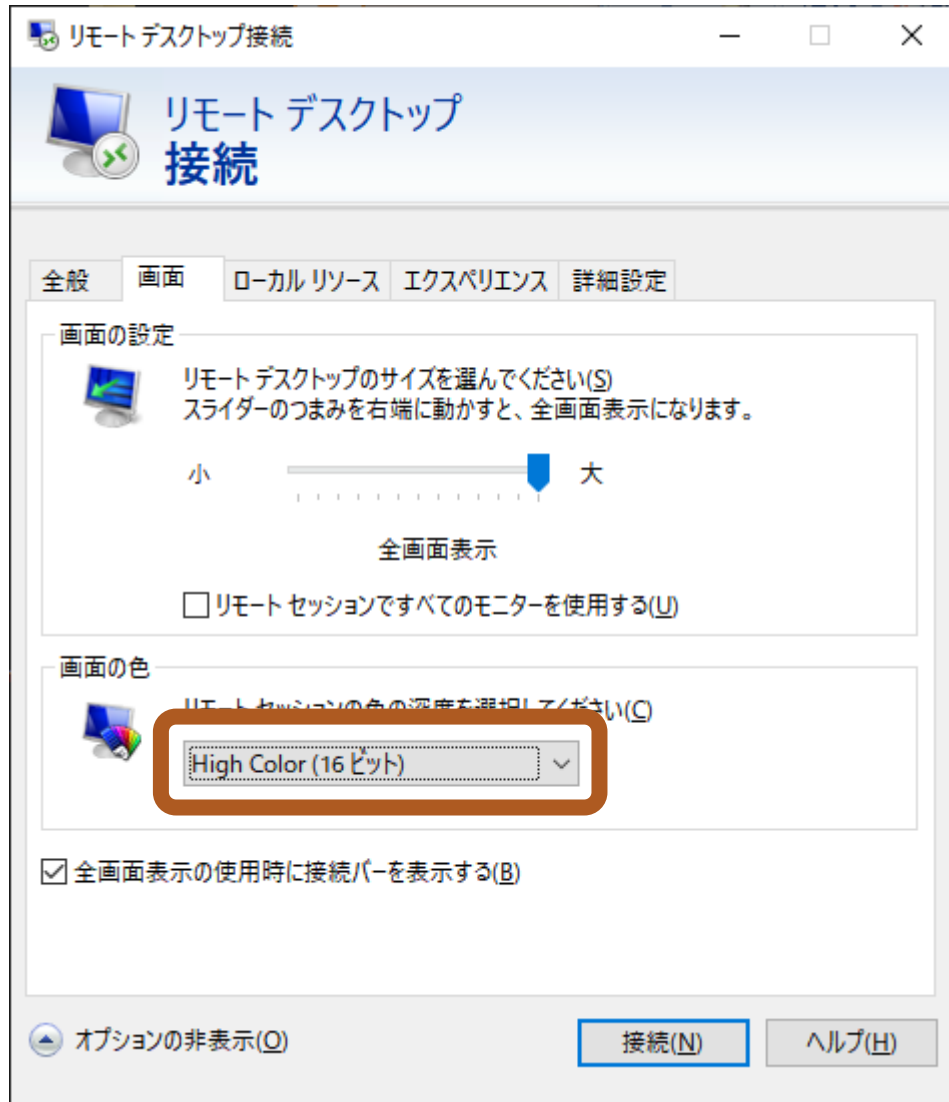
本資料にて設定変更の手順をご紹介します。

何卒、設定のご協力賜りますようお願い申し上げます。

1. Windowsメニューのプログラムリストから「Windowsアクセサリ」を選択する。
2. 「リモートデスクトップ接続」をクリックする。
3. 「オプションの表示」をクリックする。

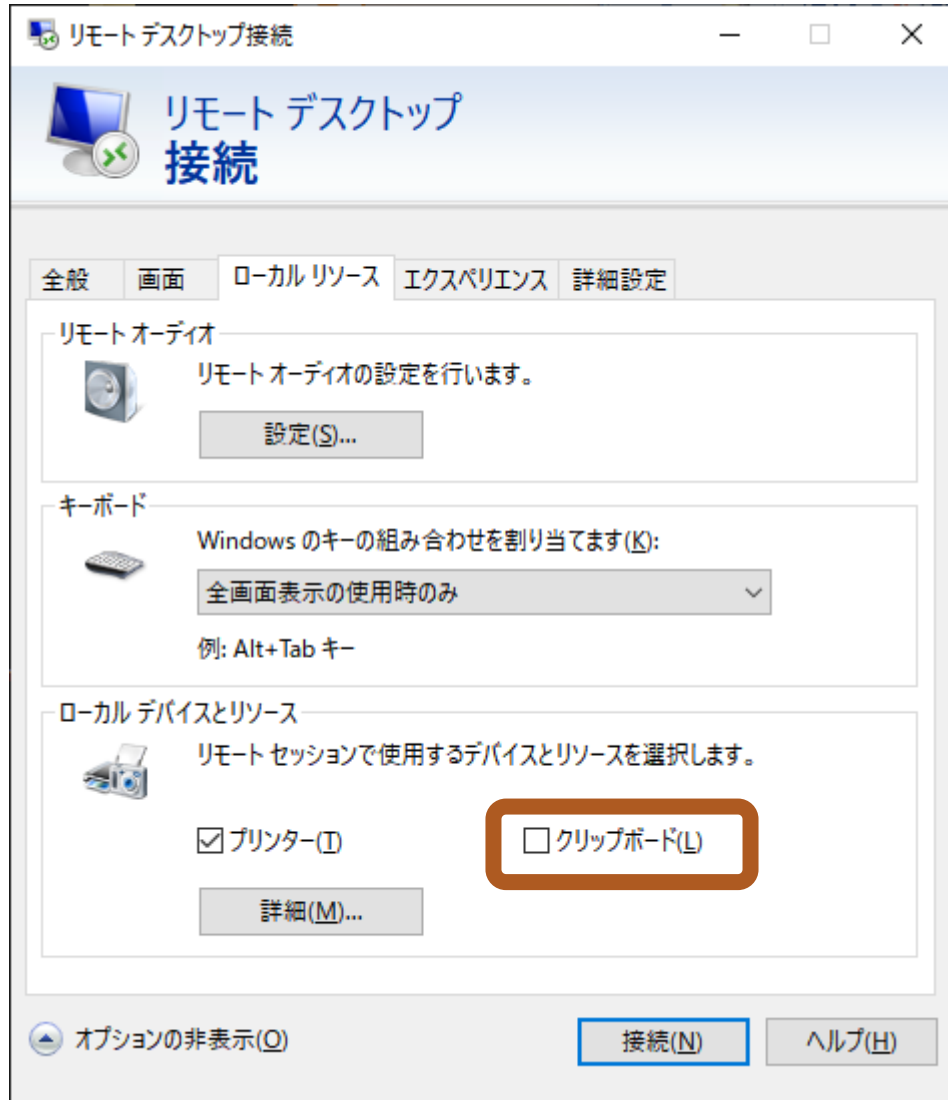


4. 「画面」にて画面の色を「 High Color(16ビット) 」に変更する。

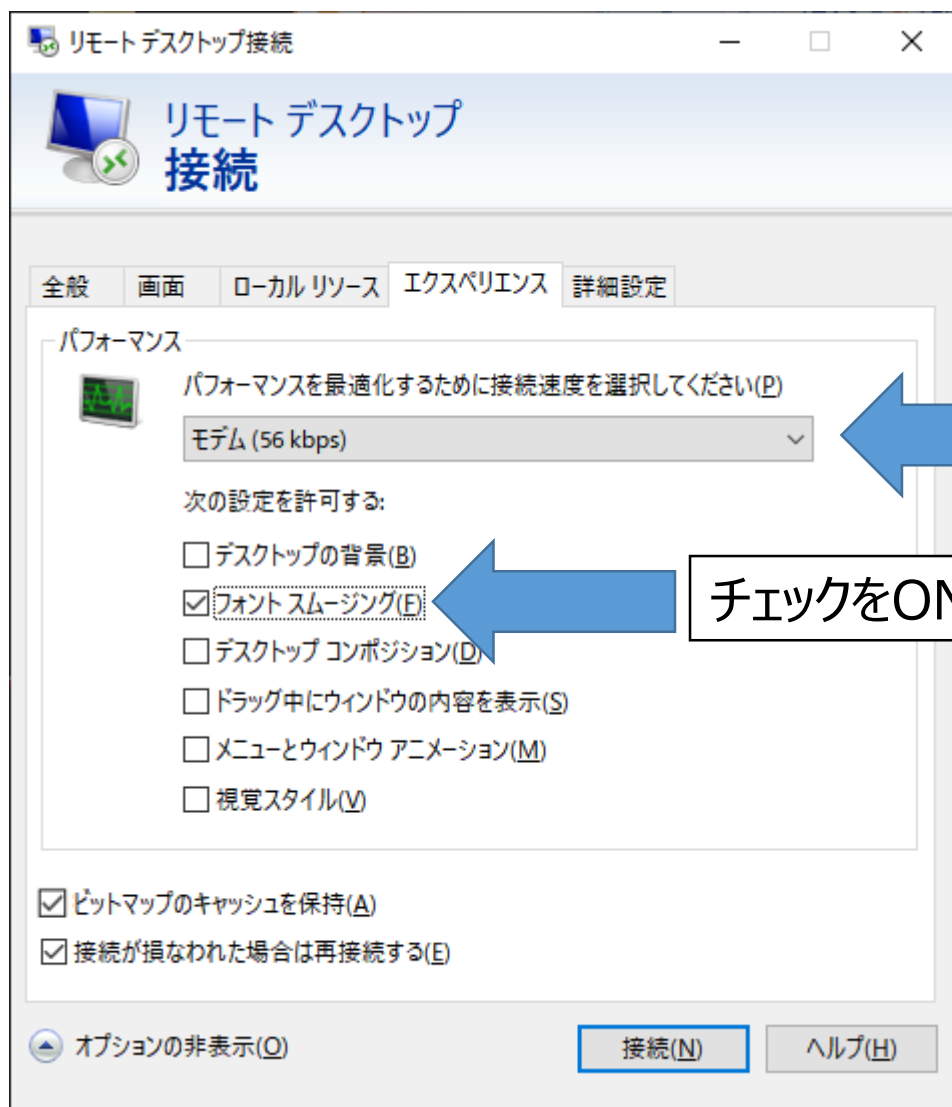




5. 「ローカルリソース」にてクリップボードのチェックを外す。



6. 「エクスペリエンス」にて次の設定を行う。



モデム (56kbps) を選択

チェックをON

以上、設定が変更できたら「接続」をクリックして、リモートデスクトップ接続を行います。